

平成28年度第1回嬉野市文化財保護審議会 議事録

2016/08/18 9:30～

於 嬉野市歴史民俗資料館

1. 開会
2. 委嘱状交付 委員全員に委嘱状交付
3. 教育長あいさつ
4. 新会長選出および会長あいさつ
5. 事務局紹介
6. 現地視察
①納戸料の百年桜（吉田） ②ウバメガシ（大草野丹生神社） ③赤絵窯（志田焼）
7. 議事（現地および車中にて委員より意見を求める）

(1)審議

- ・「納戸料の百年桜」に隣接する桜樹の取扱いについて

↓

(事務局) ・隣接する桜樹が市天然記念物「納戸料の百年桜」の枝に触るほどに成長し、悪影響を及ぼしている。可能であれば伐採して欲しいとの要望が地元よりあがっている。

・この桜は「納戸料の百年桜」の子孫（ひこばえ）等ではなく、以前に地元の方が植えたもので、その方の特定もできると聞いている。

(委員) ・子どもの頃から当地には良く訪れているが、昔はこの桜は無かった。私も「納戸料の百年桜」とは別の違う桜だと思う。

(委員) ・両方の葉を比べてみても葉の形や葉脈の様子が違い、別物だと思われる。樹齢も15～20年程ではないだろうか。「納戸料の百年桜」を管理する上でも、残念だがこの木は切った方が良いのではないだろうか。

(委員) ・切るとなった場合、根本から切るだけでいいのだろうか。

(委員) ・できれば根こそぎ取った方がいいと思う。

(全員) ・異議なし

↓

*隣接する桜樹については、撤去する方向で検討する。

(2)懸案事項

- ・「ウバメガシ（大草野丹生神社）」について

(事務局) ・平成20年7月にも一度視察に訪れている。地元からも市の指定にという要望があっている。

(委員) ・以前に来た時は状態があまり良くないように感じたが、最近は樹勢もあり元気を取り戻している。大草野地区はコミュニティの活動も盛んで、案山子祭など、いろいろな取り組みをされている。樹勢が戻ったことも、地元の方が一生懸命

保護し、大事にされているお蔭ではないだろうか。

(委員) ・説明板に樹齢800年とあるが。

(委員) ・境内には十六善神社もあり、神社の歴史も古い。樹齢は800年若しくはそれ以上あるのではないだろうか。ウバメガシは低木がほとんど聞くが、この木は県内でも有数の大木である。

(委員) ・以前にこの木が弱った原因は、隣地が水田でもあり水がありすぎて根腐れしそうになったのかもしれない。その後、樹木医による治療が功を成して樹勢が戻ったので良かった。ただ、近年境内の整地整備をされているが、ウバメガシの根本の囲いはもっと広いほうが樹木にとっては望ましいと思う。

↓

*次回審議会の検討課題へ

▶「赤絵窯（志田焼）」について

*社長より会社の沿革について説明を受ける。

・報告書では昭和27年に建てられたとあるが、実際は大正11年12月には当窯にて赤絵製造を始めている（大正11年銘の茶碗あり）こと。

・当時の志田陶磁器株式会社や赤絵窯、赤絵作業所の状況について。

・赤絵窯の建屋の老朽化や今後の維持管理について。

↓

・志田焼資料館へ移動し、赤絵窯で焼かれた火鉢や会社の資料（書類）等の説明を受ける。

↓

*次回審議会の検討課題へ

8. その他（連絡事項等）

(事務局) ▶「茶宣伝用の版木、木印」について

・市指定文化財候補として、H27年11月16日の文化財保護審議会時に所有者より吉村藤十郎にまつわる版木、木印、軍配、袴、文書等の史料を見せて頂いた。当時は、指定文化財候補であることを親類等に相談していないとのことであったが、最近そのことを伝え、了解が得られたとのこと。

・どの史料が文化財指定に値するのか等、更なる調査、精査が必要と思われる。

・市では嬉野茶の歴史に関する「うれしの茶交流館」建設も進んでいることから、うれしの茶振興課とも連携し進めたい。

▶「日本磁器のふるさと 肥前」（～百花繚乱のやきもの散歩～）が日本遺産に認定（平成28年4月25日認定）される。

・佐賀・長崎両県にまたがる「肥前窯業圏の陶磁器を核とした地域の歴史的、文化的魅力を発信することで、地域活性化に繋げることを目的とする。

*嬉野市の評価としては

- ・17世紀以降の不動山、吉田、志田で営まれた磁器窯跡など、史跡、窯跡が残っている。
- ・志田焼の里博物館（旧志田陶磁器株式会社工場）昭和50年代まで操業していた工場跡で原料加工から焼成までの工程が見学可能である。
- ・「肥前吉田焼陶器まつり」、「吉田焼辰祭り窯元市」等の開催。
- ・PR イベントの実施、プロモーションビデオや多言語ホームページの作成などの情報発信、磁器文化体験コンテンツやサービスの整備など、文化観光創出事業について今後取り組む予定

9. 閉会

*今回は現地視察が主であったため、懸案事項等については次回に引き継ぐ